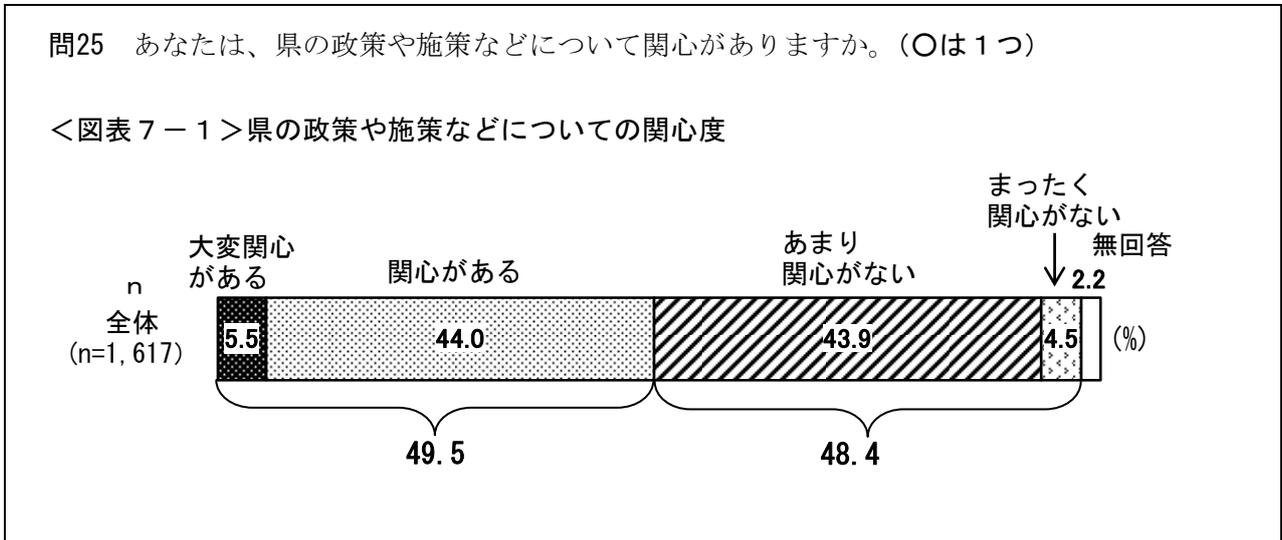


7 広報・広聴活動について

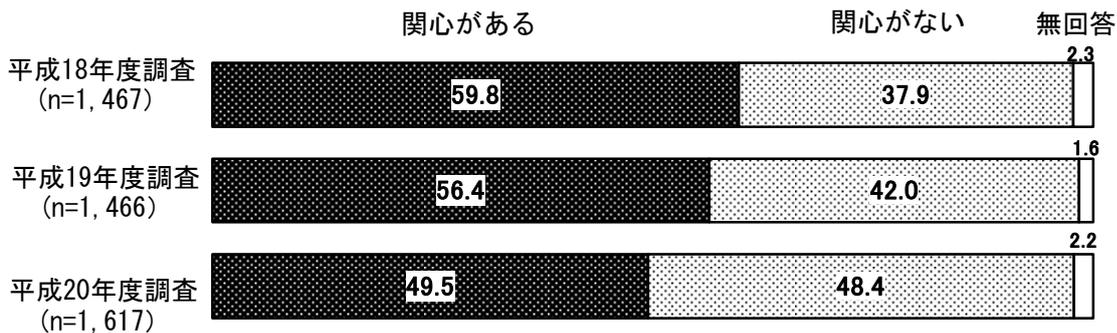
(1) 県の政策や施策などについての関心度

◇『関心がある』が約5割



県の政策や施策などについての関心度を聞いたところ、「大変関心がある」が5.5%で、「関心がある」(44.0%)が4割台半ばである。これらを合わせると、『関心がある』(49.5%)は約5割である。一方、「あまり関心がない」が43.9%と「まったく関心がない」の4.5%を合わせた『関心がない』(48.4%)も約5割である。(図表7-1)

[参考] 平成18年度・平成19年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位: %)



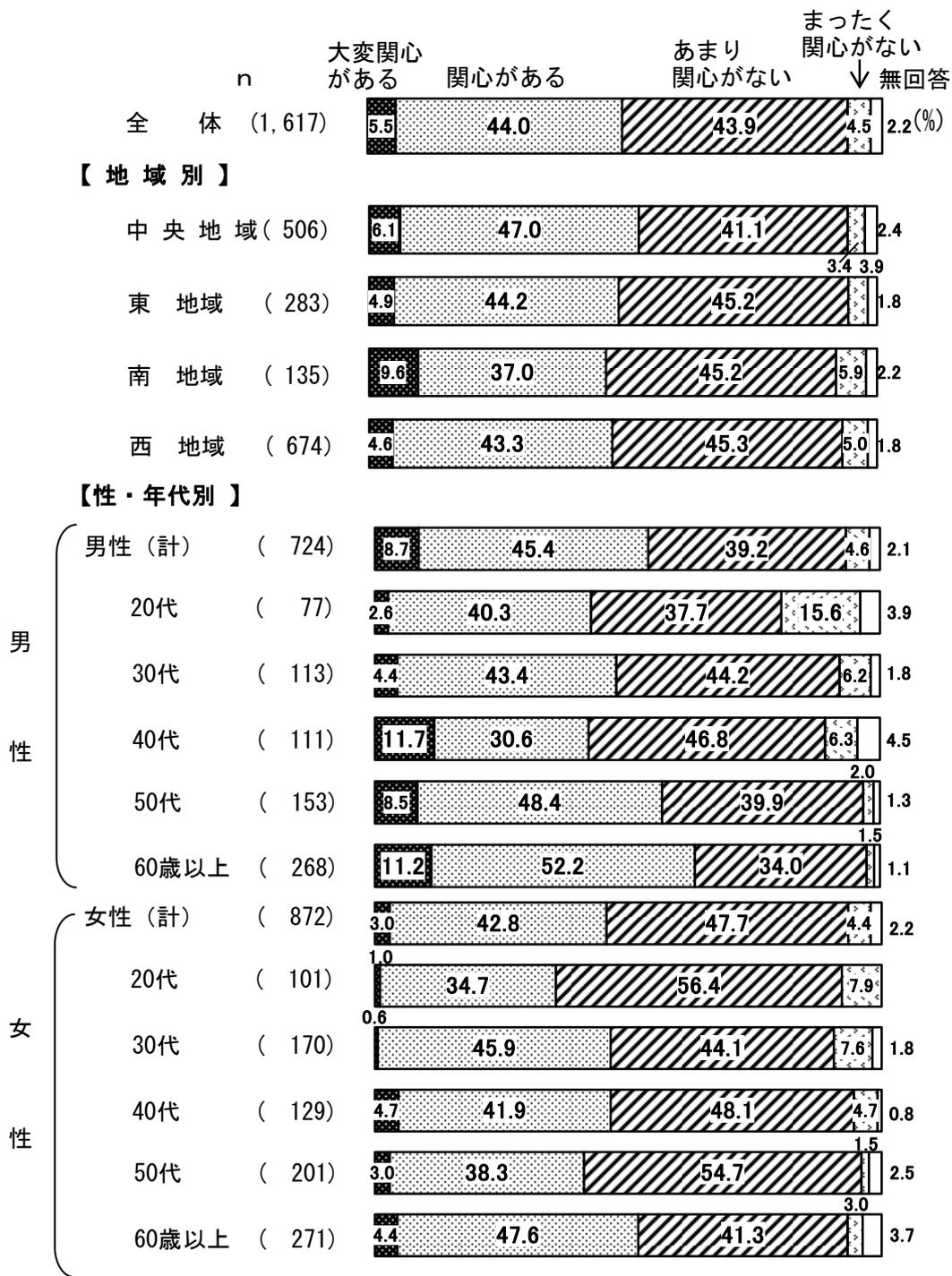
【地域別】

『関心がある』は、「中央地域」(53.1%)が5割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。(図表7-2)

【性・年代別】

『関心がある』は男女ともに60歳以上で高く、男性60歳以上(63.4%)では6割台半ばである。逆に女性の20代(35.7%)では低くなっており3割台半ばにとどまる。(図表7-2)

<図表7-2> 県の政策や施策などについての関心度／地域別、性・年代別

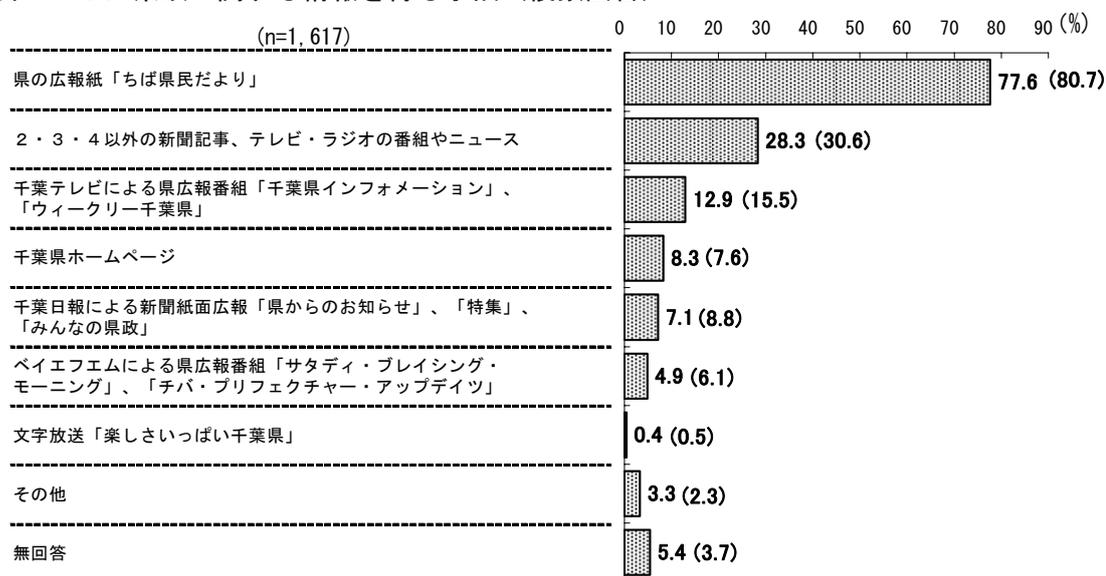


(2) 県政に関する情報を得る手段

◇「県の広報紙『ちば県民だより』」が約8割

問26 あなたは、県政に関する情報をどのような手段で得ていますか。(〇はいくつでも)

<図表7-3> 県政に関する情報を得る手段(複数回答)



注) () の数字は平成19年度の同様の項目による調査結果 n=1,466

県政に関する情報を得る手段をいくつでも選んでもらったところ、「県の広報紙『ちば県民だより』」(77.6%)が約8割と最も多かった。次いで、「2・3・4以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」(28.3%)が約3割、「千葉テレビによる県広報番組『千葉県インフォメーション』、『ウィークリー千葉県』」(12.9%)が1割を超える。(図表7-3)

(※「2・3・4以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」における、2・3・4とは、『千葉日報による新聞紙面広報「県からのお知らせ」、「特集」、「みんなの県政』、『千葉テレビによる県広報番組「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県』、『ベイエフエムによる県広報番組「サタディ・プレイング・モーニング」、「チバ・プリフェクチャー・アップデート』」を指す)

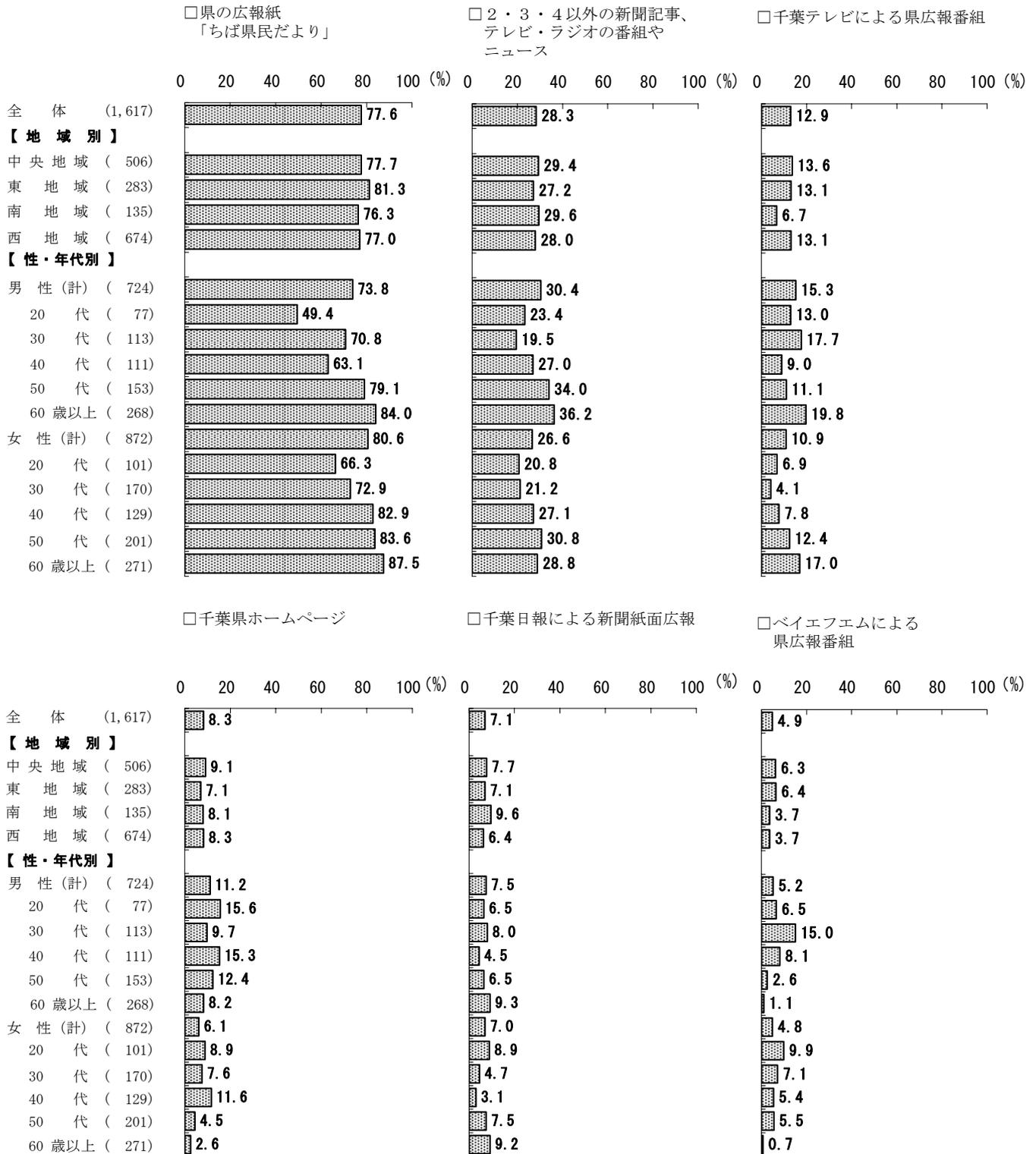
【地域別】

「県の広報紙『ちば県民だより』」は、「東地域」(81.3%)が8割を超えて他の地域より高くなっている。「2・3・4以外の新聞記事、テレビ、ラジオの番組やニュース」は、すべての地域で約3割となっている。(図表7-4)

【性・年代別】

「県の広報紙『ちば県民だより』」で入手している割合は、女性では年代が高くなるにつれて高くなっている。「2・3・4以外の新聞記事、テレビ、ラジオの番組やニュース」は、男性の50代以上及び、女性の50代で3割を超えている。「千葉テレビによる県広報番組『千葉県インフォメーション』、『ウィークリー千葉県』」は、男性の60歳以上(19.8%)が約2割で他の年代より高い。(図表7-4)

<図表7-4> 県政に関する情報を得る手段／地域別、性・年代別（上位6項目）

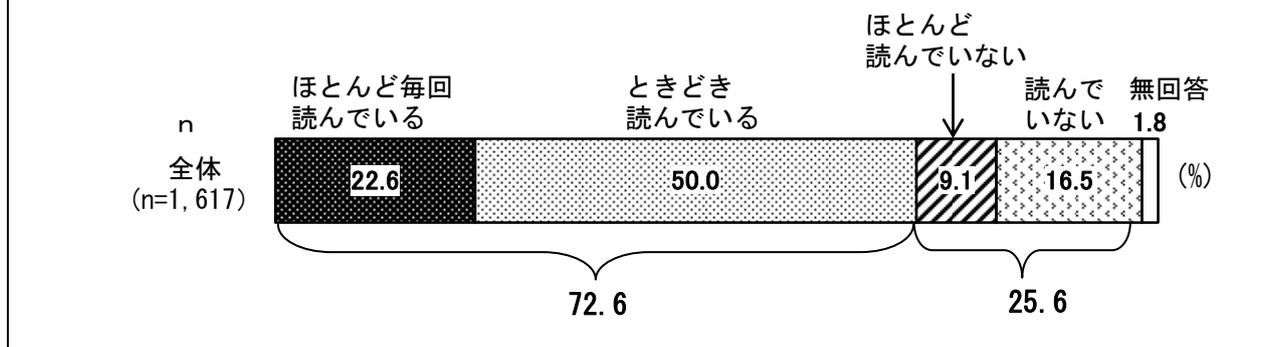


(3) 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況

◇『読んでいる』が7割を超える

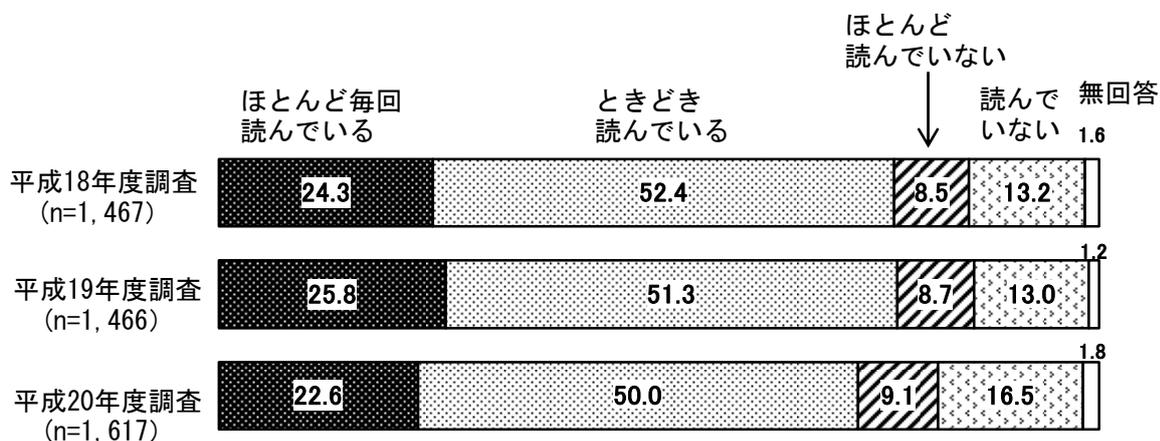
問27 県広報紙「ちば県民だより」を読んでいますか。(〇は1つ)

<図表7-5> 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況



県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況を聞いたところ、「ほとんど毎回読んでいる」(22.6%)は2割を超え、「ときどき読んでいる」(50.0%)が5割で最も多い。これらを合わせた『読んでいる』(72.6%)は7割を超えている。一方、「ほとんど読まない」(9.1%)と「読んでいない」(16.5%)を合わせた『読んでいない』(25.6%)は2割台半ばである。(図7-5)

【参考】平成18年度・平成19年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位: %)



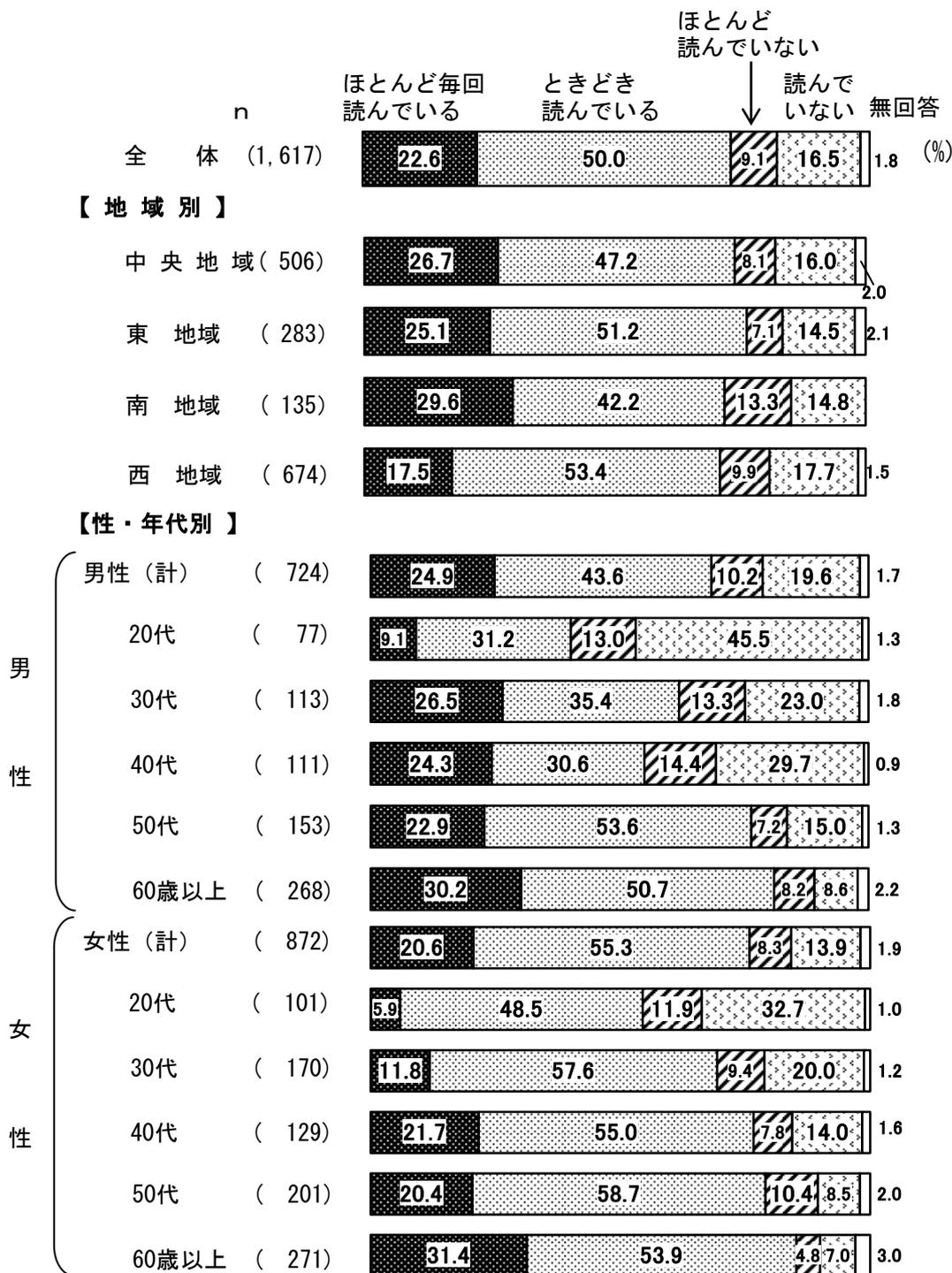
【地域別】

『読んでいる』は、“東地域”(76.3%)が他の地域に比べて高くなっている。(図表7-6)

【性・年代別】

女性では、年代が上がるほど『読んでいる』が増える傾向にある。『読んでいない』は、20代(男性: 58.5%、女性: 44.6%)が最も高くなっている。(図表7-6)

<図表7-6> 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況／地域別、性・年代別



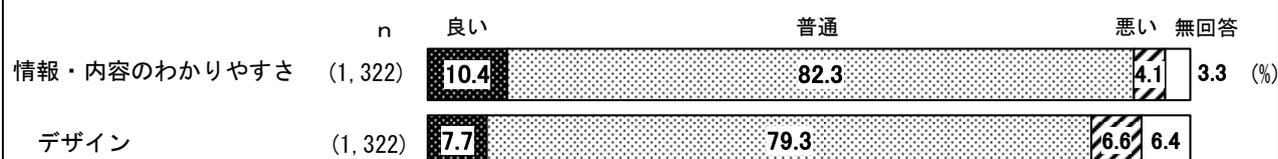
(3-1) 「ちば県民だより」の内容について

◇情報・内容のわかりやすさ、デザインの良さとともに「良い」は約1割

(問27で「1 ほとんど毎回読んでいる」「2 ときどき読んでいる」「3 ほとんど読まない」のいずれかをお答えの方に)

問27-1 県広報紙「ちば県民だより」の内容についておたずねします。(○はそれぞれ1つずつ)

<図表7-7> 「ちば県民だより」の内容について

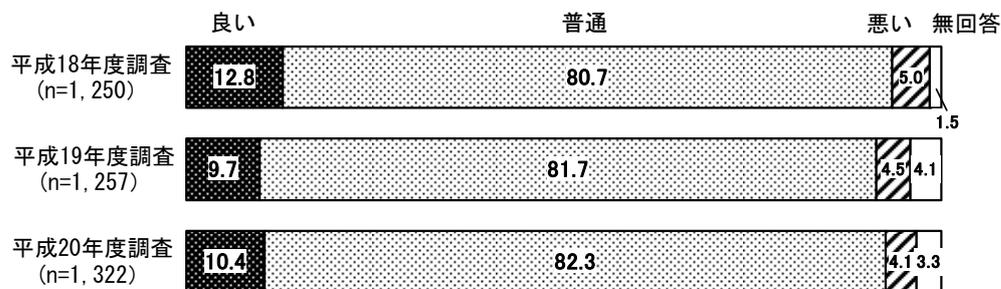


「ほとんど毎回読んでいる」、「ときどき読んでいる」、「ほとんど読まない」と回答した1,322人を対象に、「ちば県民だより」の内容について聞いたところ、情報・内容のわかりやすさは、「良い」(10.4%)が1割、「普通」(82.3%)が8割を超えている。

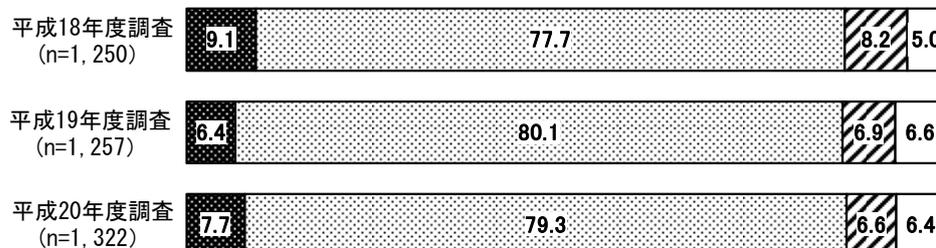
デザインの良さは、「良い」が7.7%で、「普通」(79.3%)が約8割となっている。(図表7-7)

[参考] 平成18年度・平成19年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)

[情報・内容のわかりやすさ]



[デザイン]



【地域別】

情報・内容のわかりやすさは、「良い」が“西地域”を除く、他の地域で1割を超えている。

デザインの良さについても、「良い」は“南地域”（10.4%）で他の地域より高くなっている。

（図表7-8）

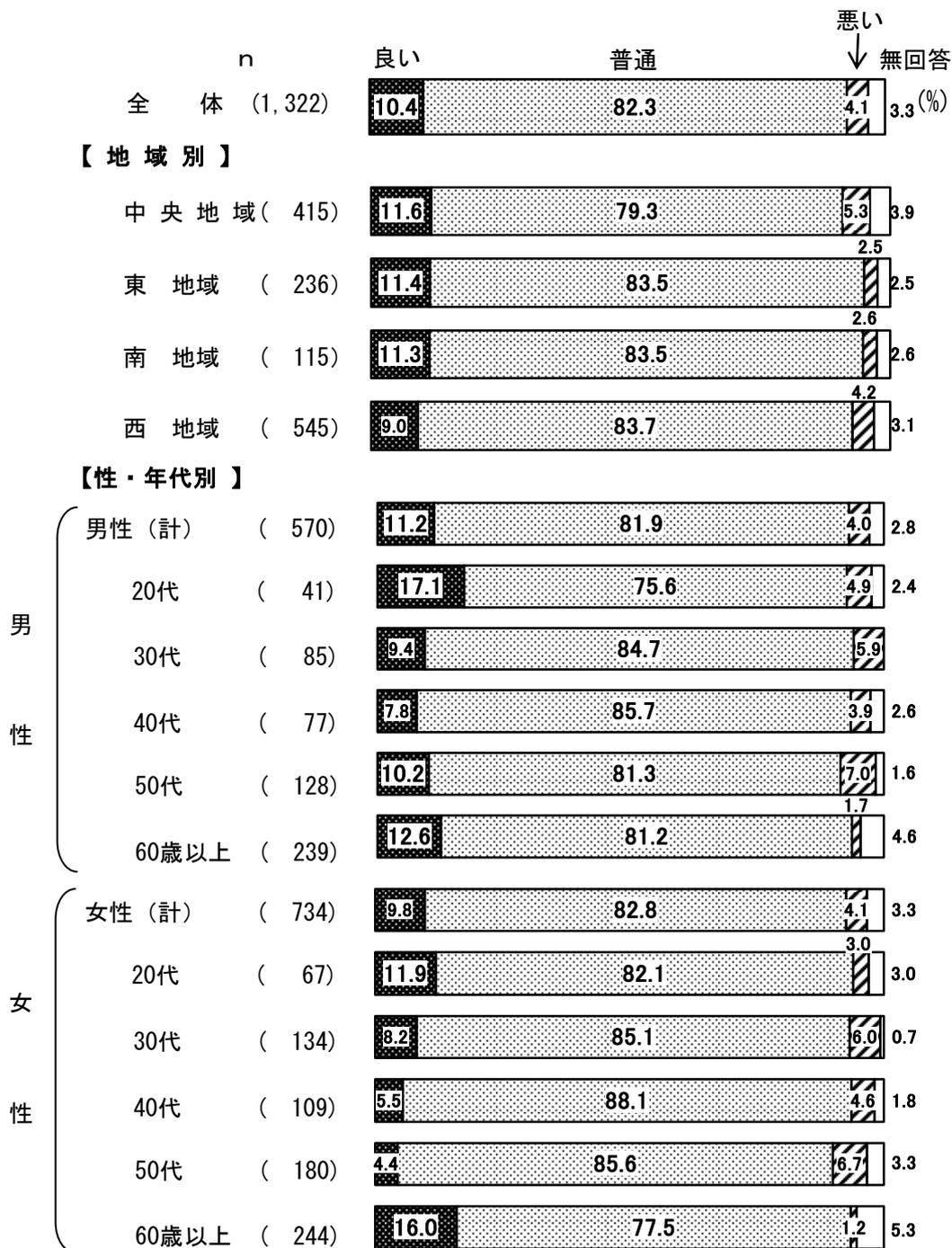
【性・年代別】

情報・内容のわかりやすさが「良い」は、男性20代（17.1%）が最も高く、女性の60歳以上（16.0%）で高くなっている。

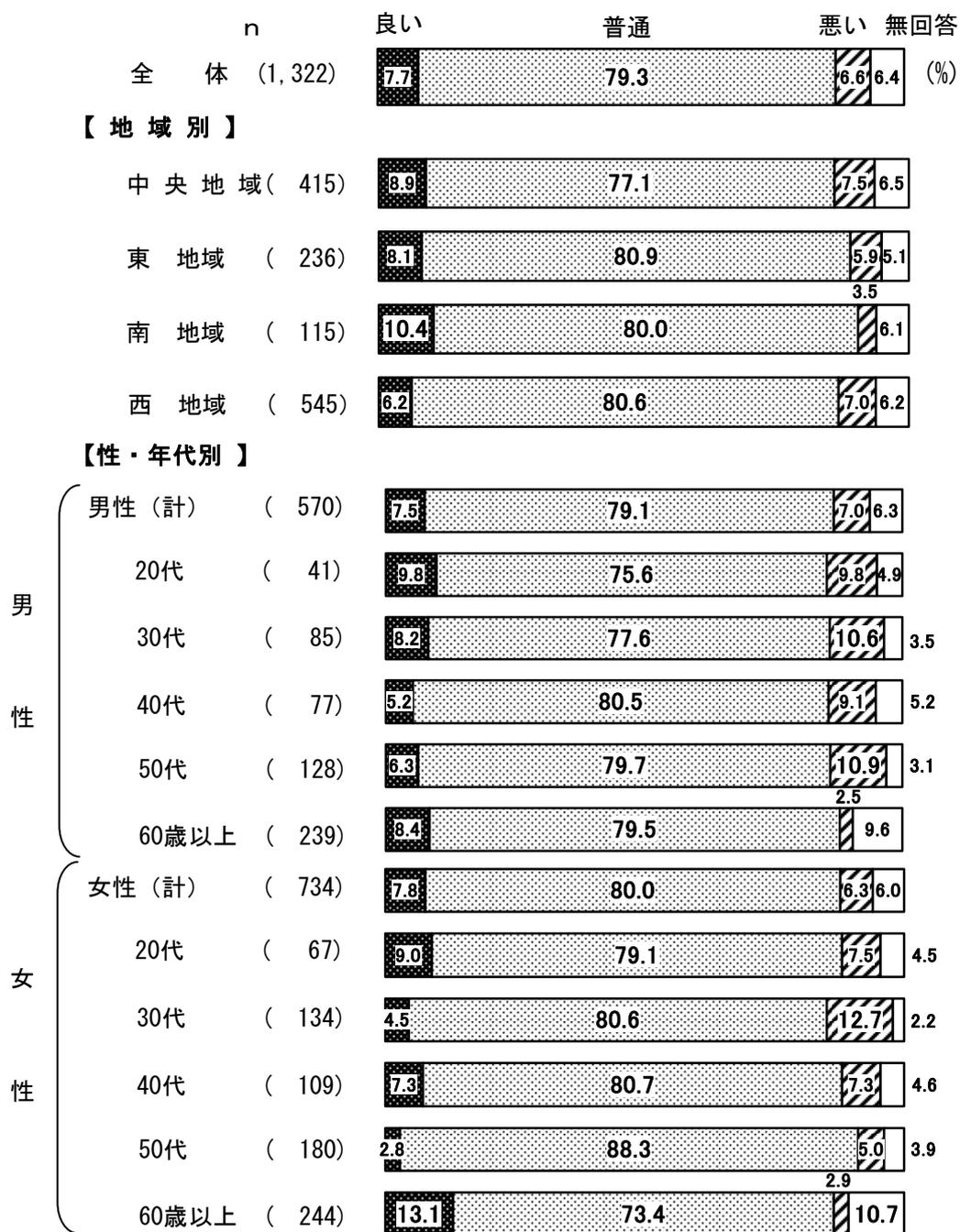
デザインの良さが「良い」は、女性の60歳以上（13.1%）が1割台半ばではあるものの、他の年代は1割未満で、特に女性の50代（2.8%）が低い。（図表7-8）

<図表7-8> 「ちば県民だより」の内容について／地域別、性・年代別

《情報・内容のわかりやすさ》



《デザインの良さ》

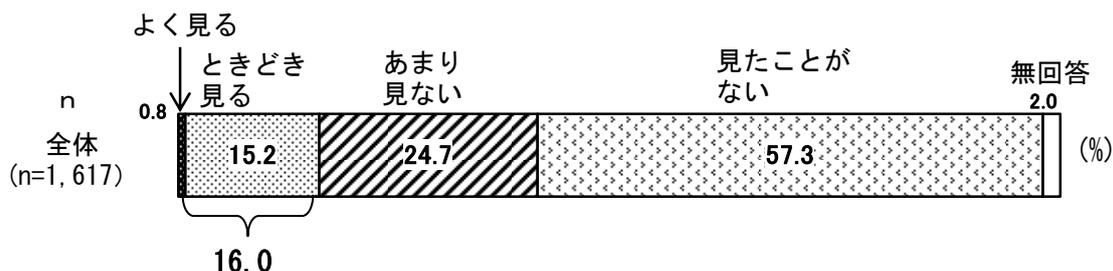


(4) 県の広報番組の視聴状況

◇『見る』は1割台半ば。「見たことがない」が約6割

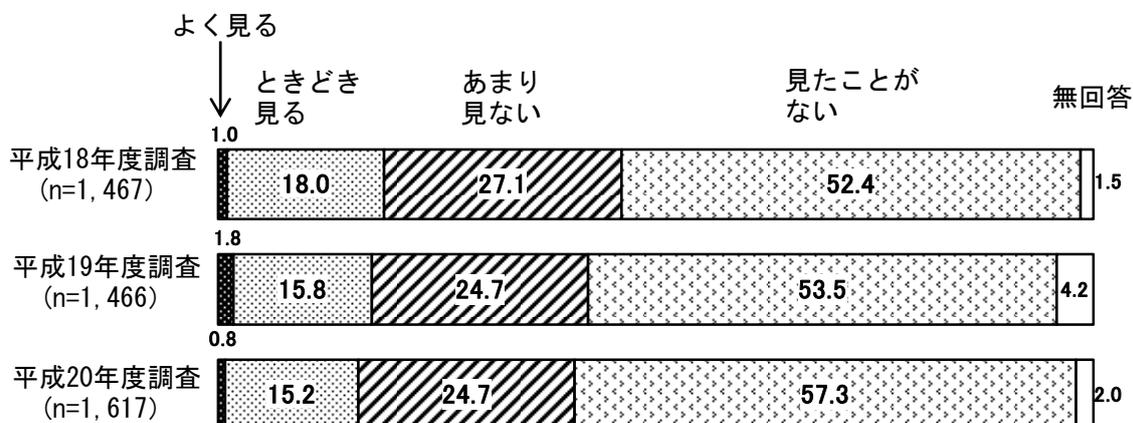
問28 県では、千葉テレビ放送において、県の広報番組「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県」を毎週放送しています。あなたは、これらの番組をどの程度ご覧になっていますか。(○は1つ)

<図表7-9> 県の広報番組の視聴状況



県の広報番組の視聴状況を聞いたところ、「よく見る」(0.8%)と「ときどき見る」(15.2%)を合わせた『見る』(16.0%)は1割台半ばである。一方、「あまり見ない」(24.7%)が2割台半ばで、「見たことがない」(57.3%)は約6割と最も多い。(図表7-9)

【参考】平成18年度・平成19年度・平成20年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



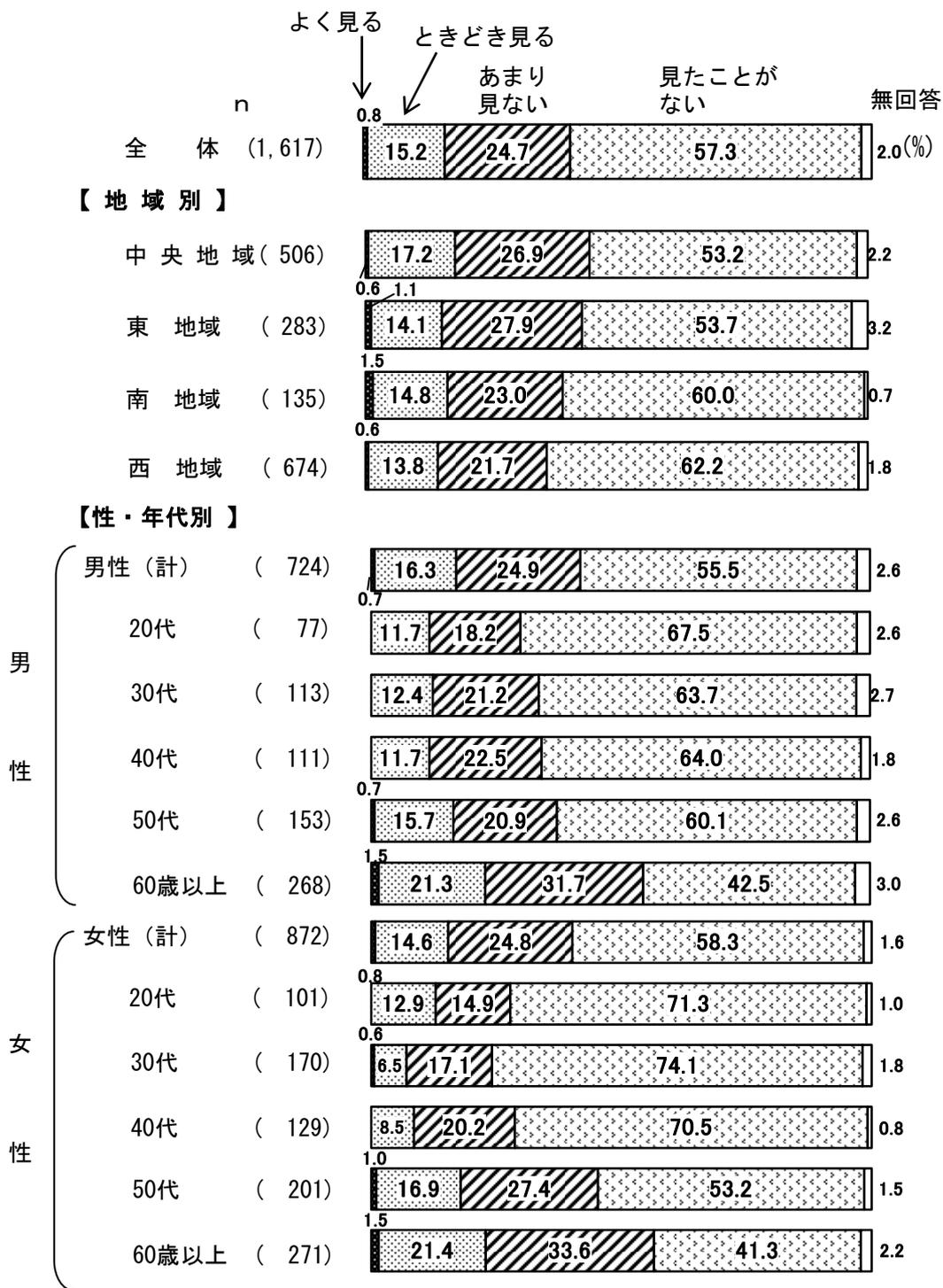
【地域別】

『見る』が最も高い地域は“中央地域”(17.8%)で約2割、「見たことがない」が最も高い地域は“西地域”(62.2%)となっている。(図表7-10)

【性・年代別】

男女共に60歳以上で、『見る』が2割を超えている。「見たことがない」は、男性の20代(67.5%)と女性の30代(74.1%)が最も高くなっている。(図表7-10)

<図表7-10> 県の広報番組の視聴状況／地域別、性・年代別

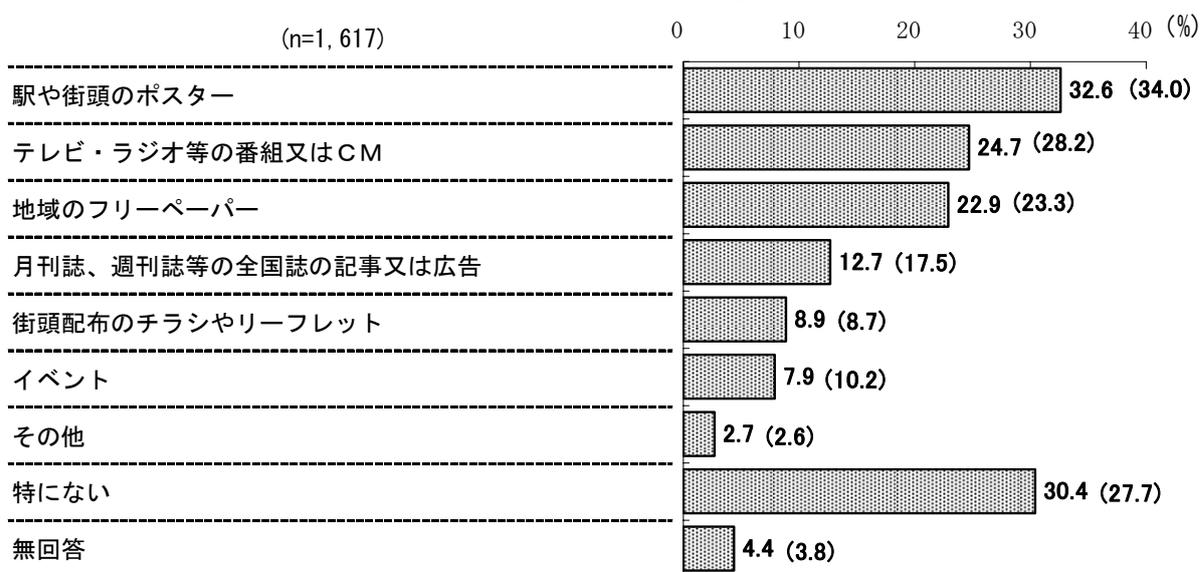


(5) 県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況

◇「駅や街頭のポスター」が3割を超える

問29 あなたは、県の広報紙や広報番組（問26の選択肢「1」～「4」及び「6」「7」に掲げるもの）以外で、県の歴史・文化、観光、イベントなど、千葉県に関する情報を見たり、聞いたりしたことがありますか。（○はいくつでも）

<図表7-11> 県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況（複数回答）



注) () の数字は平成19年度の同様の項目による調査結果 n=1,466

県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況をいくつでも選んでもらったところ、「駅や街頭のポスター」(32.6%)が3割を超えて最も多かった。次いで、「テレビ・ラジオ等の番組又はCM」(24.7%)、「地域のフリーペーパー」(22.9%)となっている。(図表7-11)

(※問29の選択肢「1」～「4」及び「6」「7」に掲げるものとは、『1 県の広報紙「ちば県民だより」』、『2 千葉日報による新聞紙面広報「県からのお知らせ」、『特集』、『みんなの県政』』、『3 千葉テレビによる県広報番組「千葉県インフォメーション」、『ウィークリー千葉県』』、『4 ベイエフエムによる県広報番組「サタディ・プレイング・モーニング」、『チバ・ブリフェクチャー・アップデート』』、『6 文字放送「楽しさいっぱい千葉県」』、『7 千葉県ホームページ』を指す)

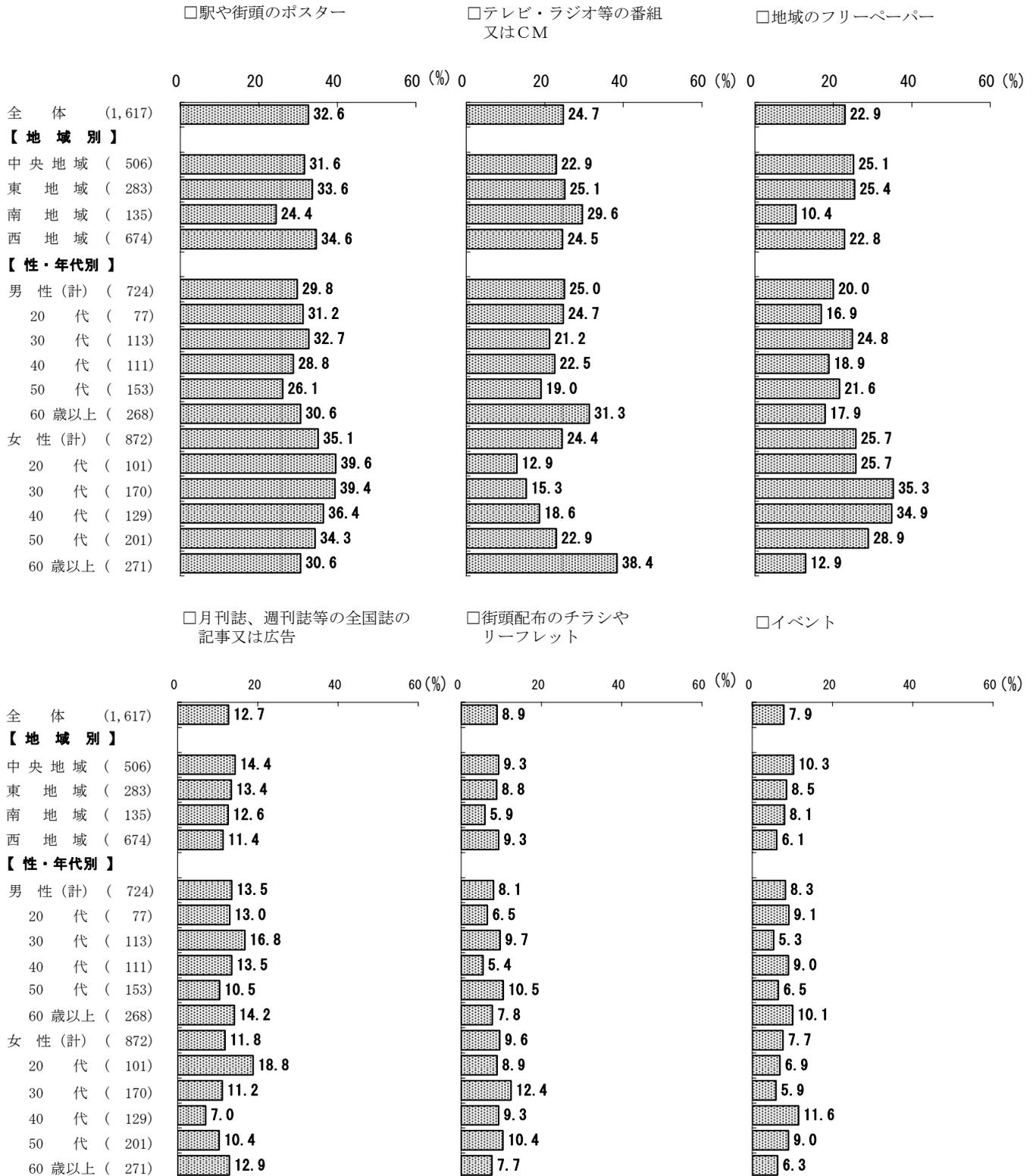
【地域別】

「駅や街頭のポスター」は“南地域”(24.4%)が唯一2割台半ばである。「テレビ・ラジオ等の番組又はCM」は、“南地域”(29.6%)が約3割で、他の地域に比べて高くなっている。(図表7-12)

【性・年代別】

「駅や街頭のポスター」は男性の20代、30代、60歳以上と女性の全年代で3割を超えている。「テレビ・ラジオ等の番組又はCM」の比率は、女性において年代が上がれば上昇する傾向。(図表7-12)

<図表7-12> 県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況／地域別、性・年代別（上位6項目）

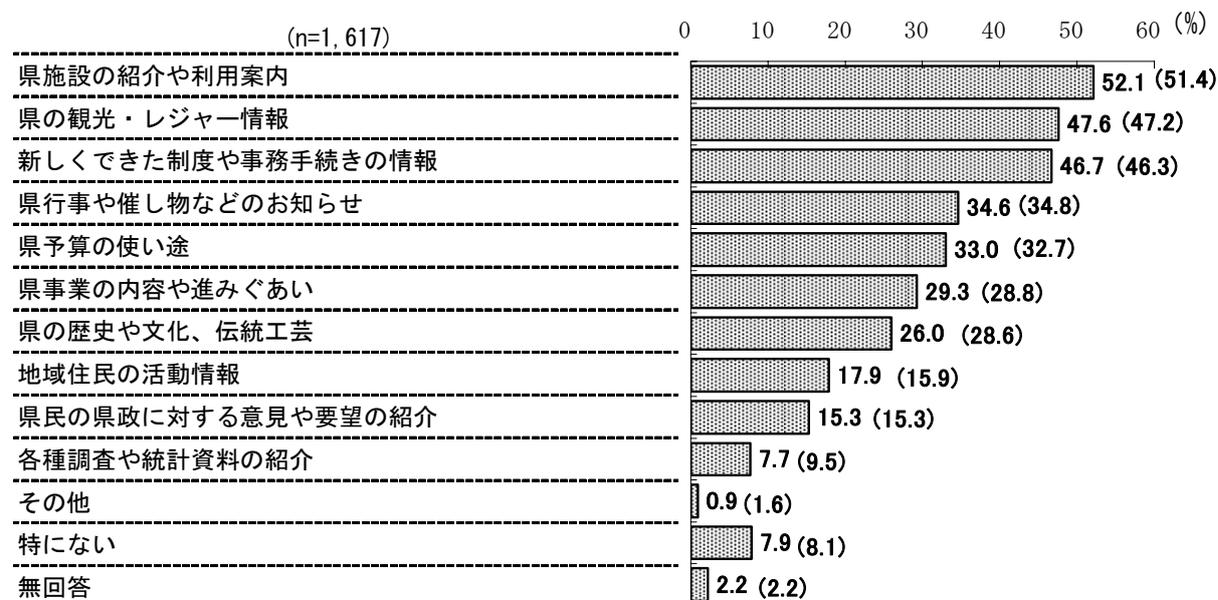


(6) 県の知りたい情報

◇「県施設の紹介や利用案内」が5割を超える

問30 あなたは、県のどのような情報が知りたいですか。(〇はいくつでも)

<図表7-13>県の知りたい情報(複数回答)



注) () の数字は平成19年度の同様の項目による調査結果 n=1,466

県について知りたい情報をいくつでも選んでもらったところ、「県施設の紹介や利用案内」(52.1%)が5割を超え高くなっている。次いで、「県の観光・レジャー情報」(47.6%)と「新しくできた制度や事務手続きの情報」(46.7%)が4割台半ばを超え、「県行事や催し物などのお知らせ」(34.6%)、「県予算の使い途」(33.0%)も3割を超えている。(図表7-13)

【地域別】

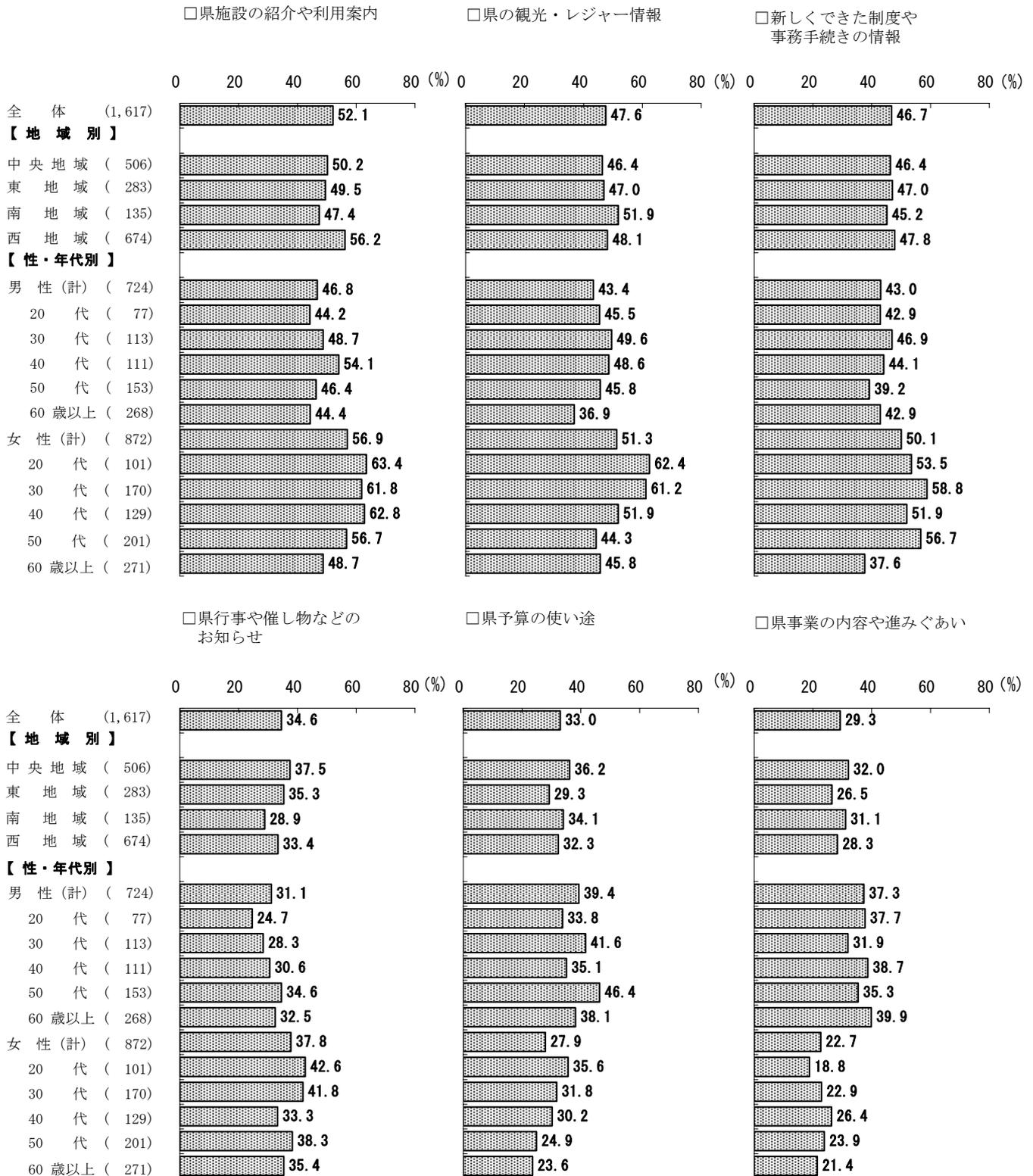
「県施設の紹介や利用案内」は“西地域”(56.2%)が最も高く、“南地域”(47.4%)が最も低くなっている。「県の観光・レジャー情報」は、“南地域”(51.9%)が5割を超え最も高くなっている。「新しくできた制度や事務手続きの情報」は、地域の差は特になし。「県行事や催し物などのお知らせ」は“中央地域”(37.5%)で約4割と他の地域に比べて高くなっている。

(図表7-14)

【性・年代別】

「県施設の紹介や利用案内」は、女性の20代(63.4%)、30代(61.8%)、40代(62.8%)が6割を超え、「県の観光・レジャー情報」は、女性の20代(62.4%)、30代(61.2%)が6割を超えている。「新しくできた制度や事務手続きの情報」は女性の30代(58.8%)で約6割となっている。「県行事や催し物などのお知らせ」は女性が20代、30代が4割を超え、「県予算の使い途」は男性の50代(46.4%)で4割台半ばである。また、「県事業の内容や進みぐあい」は男性の60代(39.9%)が最も高い。(図表7-14)

<図表7-14> 県の知りたい情報／地域別、性・年代別（上位6項目）

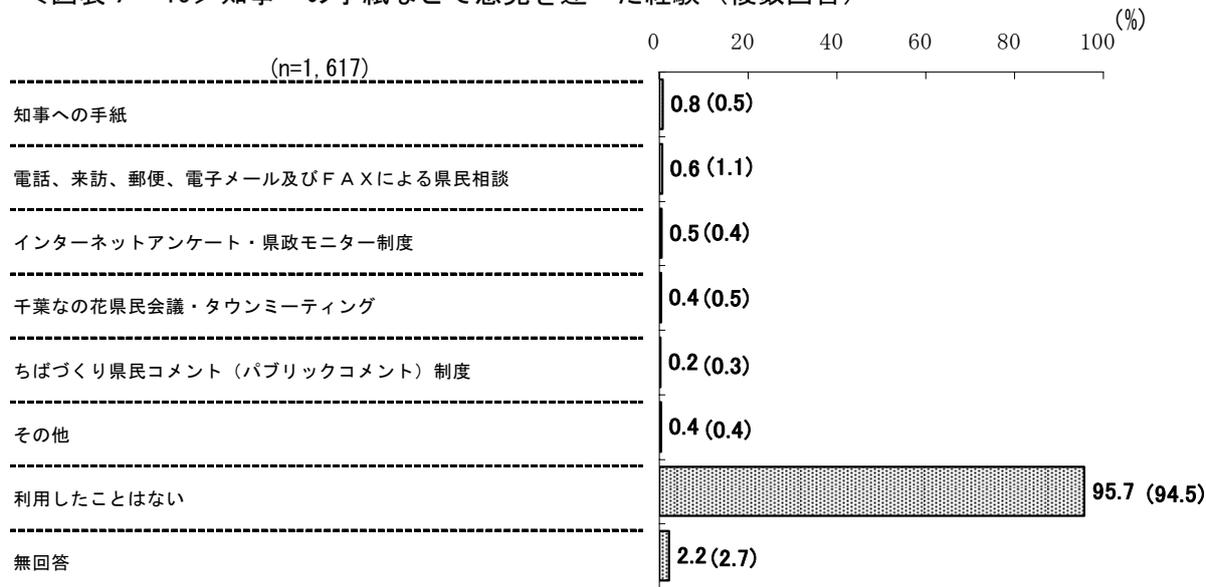


(7) 知事への手紙などで意見を述べた経験

◇「利用したことがない」が9割台半ば

問31 県では、県民参加型の県政運営に努めています。あなたは、知事への手紙などで今までに意見を述べたことがありますか。(〇はいくつでも)

<図表7-15> 知事への手紙などで意見を述べた経験 (複数回答)



注) () の数字は平成19年度の同様の項目による調査結果 n=1,466

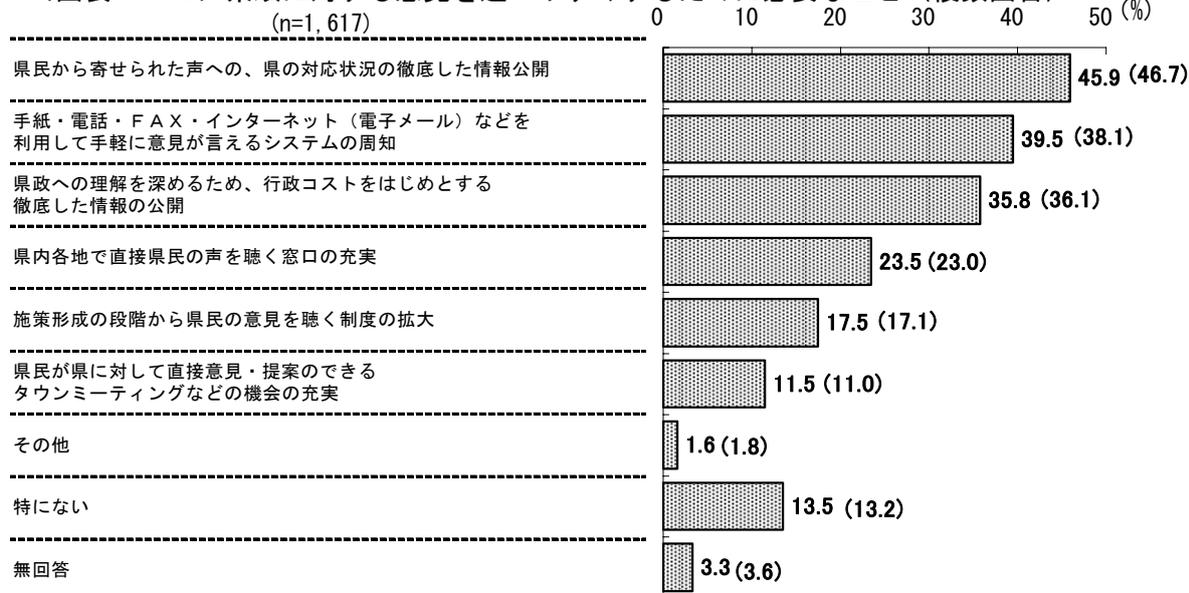
知事への手紙などで意見を述べた経験をいくつでも選んでもらったところ、「利用したことはない」(95.7%)が9割台半ば、利用したことのあるものでは「知事への手紙」が0.8%、「電話、来訪、郵便、電子メール及びFAXによる県民相談」が0.6%となっている。(図表7-15)

(8) 県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと

◇「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」が4割台半ば。

問32 みなさんが県政に対するご意見を述べやすくするためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

<図表7-16> 県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと (複数回答)



注) () の数字は平成19年度の同様の項目による調査結果 n=1,466

県政に対する意見を述べやすくするために必要なことを3つまで選んでもらったところ、「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」(45.9%)が4割台半ばとなっており、これに「手紙・電話・FAX・インターネット(電子メール)などを利用して手軽に意見が言えるシステムの周知」(39.5%)と「県政への理解を深めるため、行政コストをはじめとする徹底した情報の公開」(35.8%)が続く。(図表7-16)

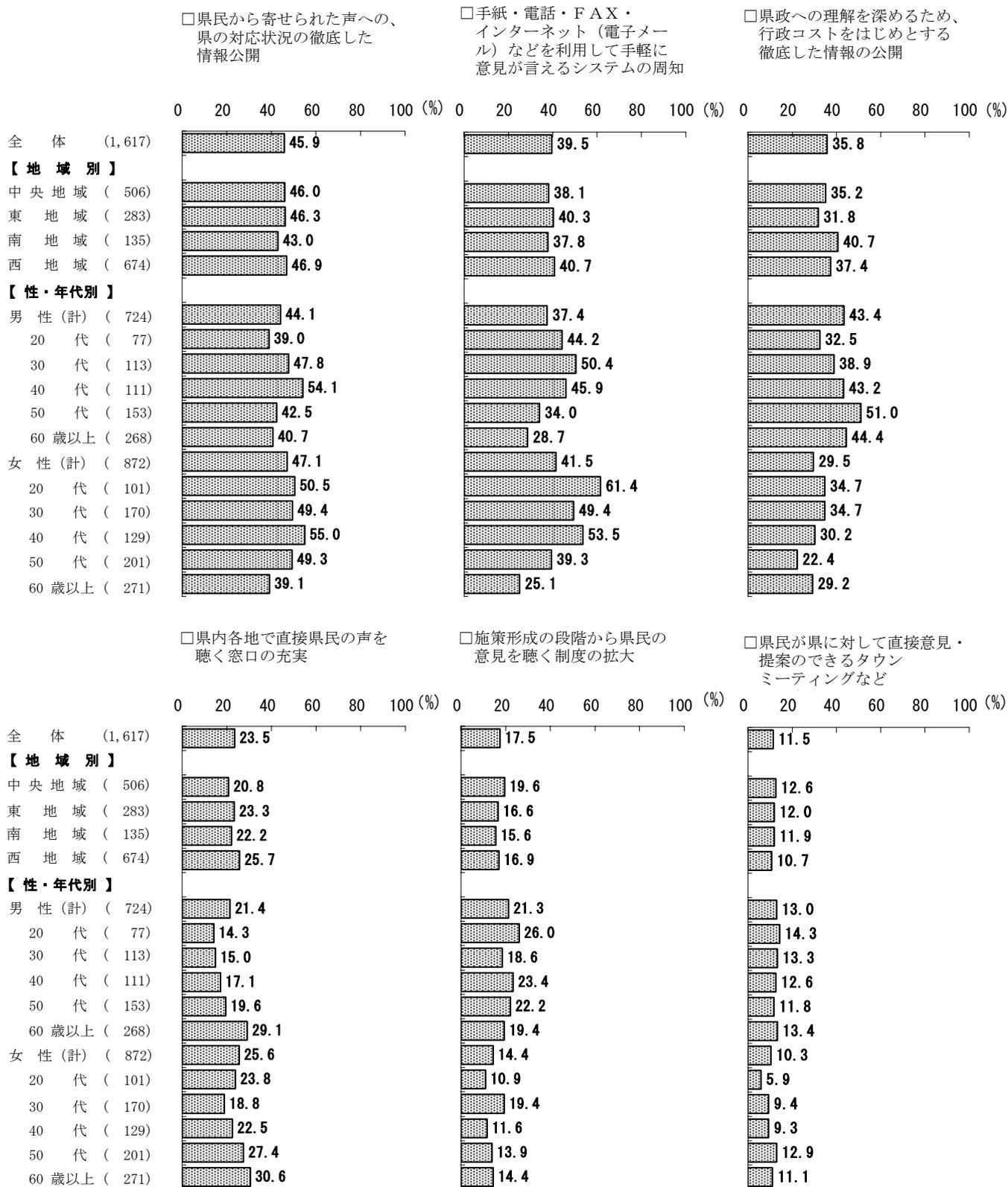
【地域別】

「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」は、「中央地域」(46.0%)、「東地域」(46.3%)、「西地域」(49.9%)が4割台半ばを超えている。「手紙・電話・FAX・インターネットなどを利用して手軽に意見が言えるシステムの周知」は、「西地域」(40.7%)、「東地域」(40.3%)で4割となっている。(図表7-17)

【性・年代別】

「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」は、男性の40代(54.1%)、女性の40代(55.0%)が最も高くなっている。「手紙・電話・FAX・インターネットなどを利用して手軽に意見が言えるシステムの周知」は女性の20代(61.4%)で6割を超える。「県政への理解を深めるため、行政コストをはじめとする徹底した情報の公開」では、男性の50代(51.0%)が5割を超えている。(図表7-17)

<図表7-17> 県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと／地域別、性・年代別

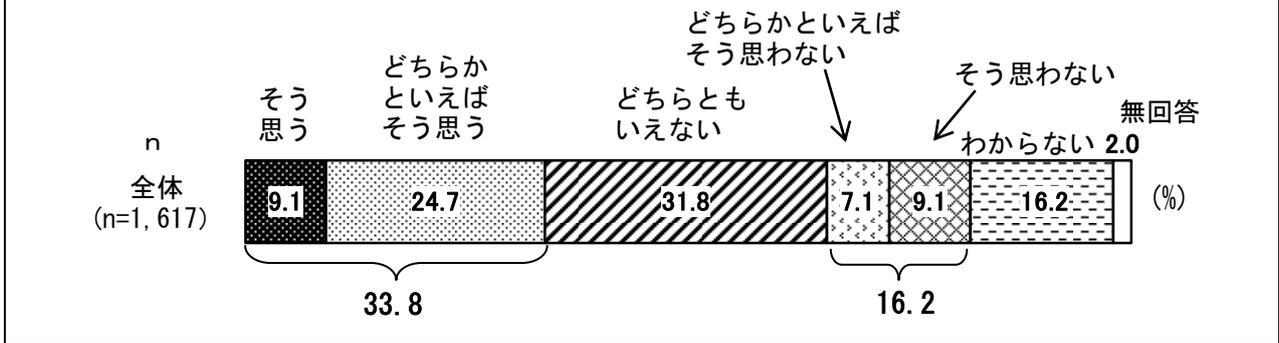


(9) 県政への意見の反映

◇『そう思う』が3割台半ば

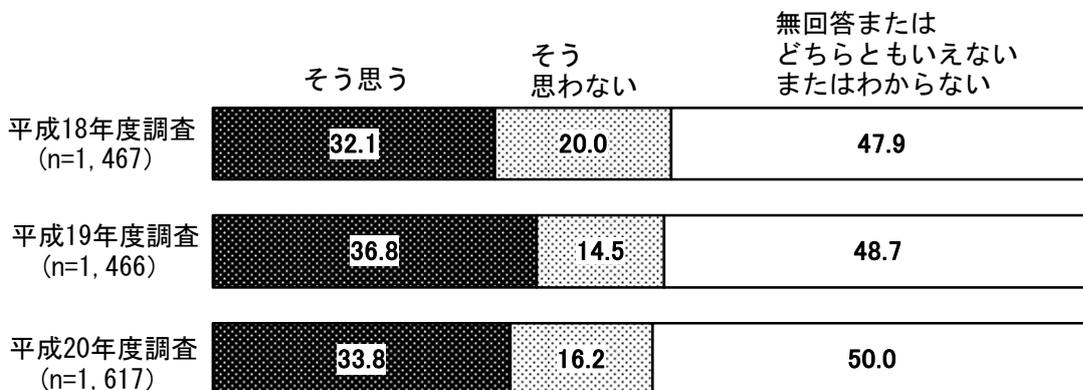
問33 今後、ご自分の意見を積極的に述べ、県政に反映させたいと思いますか。(○は1つ)

<図表7-18> 県政への意見の反映



自分の意見を県政に反映させたいと思うか聞いたところ、「そう思う」(9.1%)と「どちらかといえばそう思う」(24.7%)を合わせた『そう思う』(33.8%)は3割台半ばとなっている。「そう思わない」(9.1%)と「どちらかといえばそう思わない」(7.1%)を合わせた『そう思わない』(16.2%)は1割台半ばである。(図表7-18)

〔参考〕平成18年度・平成19年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



【地域別】

『そう思う』は“中央地域”(35.0%)、“西地域”(34.8%)が3割台半ばで他の地域に比べて高い。『そう思わない』は“東地域”(19.1%)で約2割となっている。(図表7-19)

【性・年代別】

『そう思う』は、男性では20代以外が4割を超えている。『そう思わない』は女性の20代(20.8%)が2割を超えている。(図表7-19)

<図表7-19> 県政への意見の反映／地域別、性・年代別

